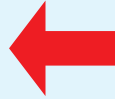


紙 類 (週1回 曜日)

2ページで収集曜日確認

対象になるもの

●新聞紙



☆折込チラシも新聞紙と一緒に束ねて出してください。

●雑誌 (雑がみ含む) ☆雑がみ 詳しくは次ページをご覧ください

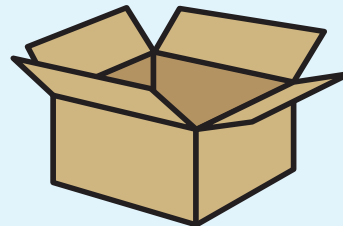


週刊誌、マンガ本、
教科書、ノート、
文庫本、カタログなど



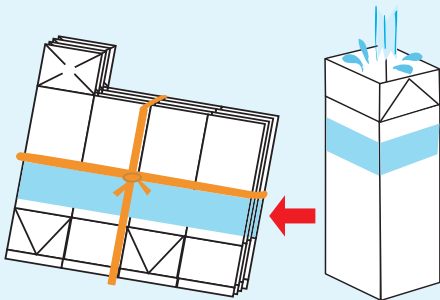
☆ホチキス止めやのり付けされているものも出してください。

●ダンボール



☆たたんでから束ねてください。

●紙パック



☆内側が銀色アルミの紙パックは「燃やすごみ」で出してください。



☆中を軽くすすいでから切り開いて束ねてください。

出すときのルール

- 新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パックは品目別に束ねてひもで十文字に縛ってください。

お願い

- 雨の日は、出すのを控えて翌週に出してください。



対象外のもの

- × 表紙が厚手の本、(写真用) アルバム
- × 内側が銀色の紙パック (主に酒類)
- × ピザ、ケーキなどで汚れた紙製容器包装
- × シュレッダーで処理した紙 など

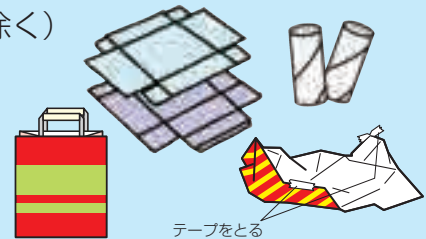
「燃やすごみ」へ
4ページ参照

雑がみについて

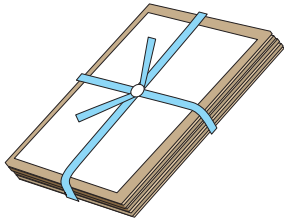
雑がみとは紙類4品目（新聞紙・雑誌・ダンボール・紙パック）以外のリサイクルができる様々な紙のことをいいます。

対象になるもの

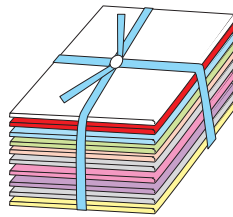
- 菓子やティッシュペーパーなどの紙箱（プラスチックフィルムは取り除いて箱をつぶす）
- 包装紙・紙袋（プラスチック製の持ち手などは取り除く）
- はがき・封筒（圧着ハガキは除く・粘着テープ、プラスチック製の封筒窓枠は取り除く）
- パンフレット・コピー用紙



出すときのルール



●雑がみだけで束ねる



●雑誌の間に挟んで束ねる



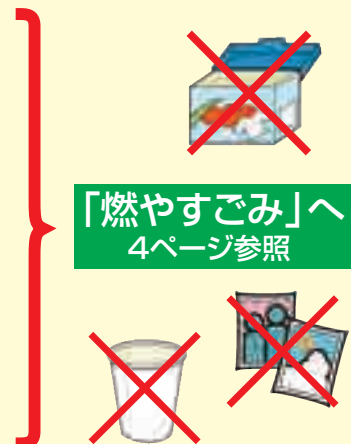
●紙袋に入れる

※雑がみは大きさがそろっておらず散らばりやすいものが多いため、紙袋に入れて出すこともできます。

対象外のもの

これらが混入するとリサイクルに支障をきたします

- × 防水加工された紙（紙コップ、紙皿、カップ麺やヨーグルトの紙製容器など）
- × カーボン紙（宅配便の複写伝票など）・感熱紙（レシートなど）
- × 点字用紙（感熱発泡紙）
- × 印画紙の写真、インクジェット写真プリント用紙
- × 臭いのついた紙（石鹼の個別包装紙・洗剤の箱など）
- × アイロンプリント紙（捺染紙）
- × カバンや靴などの詰め物としている紙
- × アルミ箔やプラスチックフィルムを貼りあわせた複合素材もの
- × 卵のパック（紙製）



1. 資源物とごみの分け方・出し方

紙類の出し方の主な間違い

新聞販売店の袋に入れて出すことや、縛らずにダンボール箱にまとめて入れる、粘着テープなどで縛って出す方法はリサイクルに支障をきたします。

また、それぞれの紙の種類によってリサイクルのされ方が異なります。

紙類は異物の混入を避けるため、品目別に束ねてひもで十文字に縛ってください。

(出し方の間違い例)



新聞販売店の袋に入れた例



ダンボール箱に入れた例



粘着テープで縛った例

紙類・布類

布類 (週1回 曜日)

2ページで収集曜日確認

対象になるもの

- 布類 (そのまま利用可能な衣類または素材が主に木綿である布: 手ぬぐい・タオル類・シーツ類など)

☆セーター、コートなどの冬物衣類やスーツも対象となります。

☆衣類のボタンやチャックなどをはずす必要はありません。



出すときのルール

- 洗濯をしてから出してください。
- 透明または半透明の袋に入れてください。

お願い

- 雨の日は、出すのを控えて翌週に出してください。

対象外のもの

- ×汚れたものやしみのあるもの
- ×下着、小物類 (手袋、靴下、帽子など)
- ×革製品、たんもの (着物) など

} 「燃やすごみ」へ
4ページ参照

☆ふとん、毛布は大型ごみになりますので、13ページをご覧ください。